



／ 毎年5月31日は世界禁煙デー・5月31日～6月6日は禁煙週間 ／

たばこと健康 ～加熱式たばこについて知ろう～

加熱式たばことは

たばこ葉やたばこ葉を加工したものを、燃焼させずに電氣的に加熱し、エアロゾル(霧状)化したニコチンと加熱によって発生した化学物質を吸入するタイプのたばこ製品です。日本では2013年12月から販売が開始され、2016年ごろから急速に普及してきました。習慣的喫煙者の約3割が使用するまで流行しており、20～40歳代での流行が顕著です。

加熱式たばこによる健康への影響

加熱式たばこは、喫煙者本人および周囲への健康影響や臭いなどが紙巻きたばこより少ないという期待から、使い始める人が多くいます。

主要な有害物質は紙巻きたばこ比べると低減されるものの、たばこの葉を加熱する製品特性から、発がん化学物質などの有害化学成分の種類は紙巻きたばこ同様、多種類に及ぶとされています。また、販売開始からの年月が浅いため、長期使用に伴う健康影響は明らかになっていません。

正しい方法で禁煙に取り組もう～医療機関で禁煙治療ができます！～

禁煙方法として加熱式たばこの安易な利用が続くと、禁煙を試みる人が増えても、禁煙成功につながらないことが懸念されます。禁煙方法として加熱式たばこを使用するのではなく、最終的なゴールは、加熱式たばこの使用を中止することです。

2020年の診療報酬改定において、加熱式たばこ使用者も健康保険で禁煙治療を受けることができるようになりました。また、2022年度から、かかりつけ医をもっている等、一定の条件を満たせば、オンライン診療で手軽に禁煙治療が受けられるようになっています。

※厚生労働省「e-ヘルスネット」より

広報連絡委員レポート No.456



石塔群の保存整備

広報連絡委員 田村 悟



皆さんは、「ポタリング」(=のんびり自転車散歩)という言葉に耳にされたことがおありでしょうか？

野木町でも観光協会発行のポタリングマップがあり、様々あるコースのうち石仏・古墳コースで若林地区の石塔群(マップでは石仏群)が紹介されています。

石塔群は、かつて若林区内の辻々や廃寺となった青蓮寺(しょうれんじ)にあったものを先人たちが大切に思い現在の場所に安置したと思われます。

その構成は南北3列の配置で30基あり、内訳は庚申塔5基、十九夜塔4基、地藏塔6基、僧侶墓石5基、光明真言塔2基、阿弥陀如来立像、聖観音立像、馬頭観音塔、宝篋印塔、念仏供養塔、道標が各1基、その他不詳塔2基となっています。

昨年11月、長年の風雪に曝され一部の石塔には傾き

や倒伏が見られていたため、先人たちの思いを繋ぐ地区事業として石塔群の保存整備を行いました。

整備は現状の配置はほぼ変えず、土台を土からコンクリートの基礎に変え、傾きを戻し、倒れていた石塔はしっかり固定、石塔表面は洗われ刻まれた文字がより判別できる姿になりました。特に配置を変更した石塔は道標で、奥三列目の西側にひっそり隠れていたものを前列角に移し「北、間々田方面へ」、「西、友沼方面」、「東、佐川野へ」と記された方向に合わせ往時の風情を感じられるように位置替えをしました。

また、この機会に個々の石塔について町の文化財審議委員の尾島忠信氏にお願いして詳細な調査を行っていただきました。現地で、この調査内容と石塔を一つ一つ照らし合わせてご覧いただくとより興味を持っていただけると思い紙面のQRから閲覧できるよう広報係の方に配慮いただきました。

初夏の風爽やかなこの時期、ポタリングやお散歩がてら石塔群を見学には是非お出かけください。



野木町SNS・
公式ホームページで
町の情報発信中!!